

新居浜工業高等専門学校			語学研修科目（本科）								開講年度		令和06年度（2024年度）														
学科到達目標																											
語学研修科目（本科）は、全学科・全学年対象である。																											
科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分				
						1年				2年				3年				4年						5年			
						前		後		前		後		前		後		前		後				前		後	
						1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4			1	2	3	4
一般	選択	英会話演習A 1	104740	履修単位	1	集中講義																福光 優一郎					
一般	選択	英会話演習A 2	104741	履修単位	1	集中講義																福光 優一郎					
一般	選択	英会話演習B	104742	履修単位	2	集中講義																福光 優一郎					
一般	選択	海外語学研修A 1	104750	履修単位	1	集中講義																野田 善弘, 平田 隆一郎					
一般	選択	海外語学研修A 2	104751	履修単位	1	集中講義																野田 善弘, 平田 隆一郎					
一般	選択	海外語学研修B	104752	履修単位	2	集中講義																野田 善弘, 平田 隆一郎					
一般	選択	英会話演習A 1	104740	履修単位	1	集中講義																福光 優一郎					
一般	選択	英会話演習A 2	104741	履修単位	1	集中講義																福光 優一郎					
一般	選択	英会話演習B	104742	履修単位	2	集中講義																福光 優一郎					
一般	選択	海外語学研修A 1	104750	履修単位	1	集中講義																野田 善弘, 平田 隆一郎					
一般	選択	海外語学研修A 2	104751	履修単位	1	集中講義																野田 善弘, 平田 隆一郎					
一般	選択	海外語学研修B	104752	履修単位	2	集中講義																野田 善弘, 平田 隆一郎					
一般	選択	英会話演習A 1	104740	履修単位	1	集中講義																福光 優一郎					
一般	選択	英会話演習A 2	104741	履修単位	1	集中講義																福光 優一郎					
一般	選択	英会話演習B	104742	履修単位	2	集中講義																福光 優一郎					
一般	選択	海外語学研修A 1	104750	履修単位	1	集中講義																野田 善弘, 平田 隆一郎					
一般	選択	海外語学研修A 2	104751	履修単位	1	集中講義																野田 善弘, 平田 隆一郎					
一般	選択	海外語学研修B	104752	履修単位	2	集中講義																野田 善弘, 平田 隆一郎					
一般	選択	英会話演習A 1	104740	履修単位	1	集中講義																福光 優一郎					
一般	選択	英会話演習A 2	104741	履修単位	1	集中講義																福光 優一郎					
一般	選択	英会話演習B	104742	履修単位	2	集中講義																福光 優一郎					
一般	選択	海外語学研修A 1	104750	履修単位	1	集中講義																野田 善弘, 平田 隆一郎					
一般	選択	海外語学研修A 2	104751	履修単位	1	集中講義																野田 善弘, 平田 隆一郎					
一般	選択	海外語学研修B	104752	履修単位	2	集中講義																野田 善弘, 平田 隆一郎					
一般	選択	英会話演習A 1	104740	履修単位	1	集中講義																福光 優一郎					
一般	選択	英会話演習A 2	104741	履修単位	1	集中講義																福光 優一郎					
一般	選択	英会話演習B	104742	履修単位	2	集中講義																福光 優一郎					
一般	選択	海外語学研修A 1	104750	履修単位	1	集中講義																野田 善弘, 平田 隆一郎					
一般	選択	海外語学研修A 2	104751	履修単位	1	集中講義																野田 善弘, 平田 隆一郎					

一般	選択	海外語学研修B	10475 2	履修単位	2												集中講義					野田 善弘, 平田 隆一郎	
一般	選択	英会話演習A 1	10474 0	履修単位	1													集中講義				福光 優一郎	
一般	選択	英会話演習A 2	10474 1	履修単位	1													集中講義				福光 優一郎	
一般	選択	英会話演習B	10474 2	履修単位	2													集中講義				福光 優一郎	
一般	選択	海外語学研修A 1	10475 0	履修単位	1													集中講義				野田 善弘, 平田 隆一郎	
一般	選択	海外語学研修A 2	10475 1	履修単位	1													集中講義				野田 善弘, 平田 隆一郎	
一般	選択	海外語学研修B	10475 2	履修単位	2													集中講義				野田 善弘, 平田 隆一郎	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英会話演習A 1	
科目基礎情報							
科目番号		104740		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		演習		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		語学研修科目 (本科)		対象学年		1	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		オンライン教材					
担当教員		福光 優一郎					
到達目標							
オンライン英会話を用いた個別最適化した学習機会の提供を目的とする。 到達目標は学習者自らが定め、オンライン上のレッスン教材を用いて講師とともに学習を進め、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		講師と英語で積極的にコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		授業時間外に学習者がオンラインレッスンを受講し、受講回数が30回を超えた学習者に1単位を認める。レッスンの受講時間以外に、学習内容の予習復習が必要である。					
授業の進め方・方法		オンライン英会話では会話教材はもちろん、発音、文法、TOEIC対策、Daily Newsなど様々な教材が用意されている。学習者の目的に応じて教材を選択し、講師と英語でコミュニケーションを取りながら、学習を進める。					
注意点		この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。また、受講費用については自己負担となる。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		対話		合計	
総合評価割合		100		100	
分野横断的能力		100		100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英会話演習A 2	
科目基礎情報							
科目番号	104741			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	語学研修科目 (本科)			対象学年	1		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	オンライン教材						
担当教員	福光 優一郎						
到達目標							
オンライン英会話を用いた個別最適化した学習機会の提供を目的とする。 到達目標は学習者自らが定め、オンライン上のレッスン教材を用いて講師とともに学習を進め、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		講師と英語で積極的にコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	授業時間外に学習者がオンラインレッスンを受講し、受講回数が3 0 回を超えた学習者に1単位を認める。レッスンの受講時間以外に、学習内容の予習復習が必要である。本科目は、すでに英会話演習A 1 (1単位) を取得した学生を対象とする。						
授業の進め方・方法	オンライン英会話では会話教材はもちろん、発音、文法、TOEIC対策、Daily Newsなど様々な教材が用意されている。学習者の目的に応じて教材を選択し、講師と英語でコミュニケーションを取りながら、学習を進める。						
注意点	この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。また、受講費用については自己負担となる。						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		対話		合計	
総合評価割合		100		100	
分野横断的能力		100		100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英会話演習B	
科目基礎情報							
科目番号		104742		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		演習		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		語学研修科目 (本科)		対象学年		1	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		オンライン教材					
担当教員		福光 優一郎					
到達目標							
オンライン英会話を用いた個別最適化した学習機会の提供を目的とする。 到達目標は学習者自らが定め、オンライン上のレッスン教材を用いて講師とともに学習を進め、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		講師と英語で積極的にコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		授業時間外に学習者がオンラインレッスンを受講し、受講回数が60回を超えた学習者に2単位を認める。レッスンの受講時間以外に、学習内容の予習復習が必要である。すでに英会話演習A1もしくは英会話演習A2を取得した学生は、本科目を受講できない。					
授業の進め方・方法		オンライン英会話では会話教材はもちろん、発音、文法、TOEIC対策、Daily Newsなど様々な教材が用意されている。学習者の目的に応じて教材を選択し、講師と英語でコミュニケーションを取りながら、学習を進める。					
注意点		この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。また、受講費用については自己負担となる。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		対話		合計	
総合評価割合		100		100	
分野横断的能力		100		100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	海外語学研修A 1	
科目基礎情報							
科目番号		104750		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		実習		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		語学研修科目 (本科)		対象学年		1	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		なし					
担当教員		野田 善弘,平田 隆一郎					
到達目標							
海外協力校等において、現地の人々との交流や生きた語学環境と異文化を体験することで、グローバルな視野の獲得、学生の語学力や国際コミュニケーション力の向上を目的とする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		現地の人々と積極的にコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができない。	
評価項目2		国際感覚と異文化共生能力を十分に身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けていない。	
評価項目3		実習の目的や成果を的確に表現できる。		実習の目的や成果を表現できる。		実習の目的や成果を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		海外での語学研修（オンライン研修も含む）での活動、および事前事後学習を行い、コミュニケーション能力と異文化共生能力を向上させる。本校主催の研修以外も対象とし、その期間や内容に応じて、1単位を認める。					
授業の進め方・方法		事前に研修プログラムを提出する。研修中は、現地での様々な活動に積極的に取り組む。帰国後に修了書を提出する。事後報告の資料を作成し、提出するとともに必要に応じて報告会でプレゼンテーションを行う。					
注意点		この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	事前指導：研修プログラムの提出		1,2,3		
		2週	事前指導：渡航指導		1,2,3		
		3週	研修先での活動		1,2,3		
		4週	研修先での活動		1,2,3		
		5週	研修先での活動		1,2,3		
		6週	研修先での活動		1,2,3		
		7週	研修先での活動		1,2,3		
		8週	研修先での活動		1,2,3		
	2ndQ	9週	研修先での活動		1,2,3		
		10週	研修先での活動		1,2,3		
		11週	研修先での活動		1,2,3		
		12週	研修先での活動		1,2,3		
		13週	研修先での活動		1,2,3		
		14週	事後学習：報告書の作成		1,2,3		
		15週	事後学習：成果発表		1,2,3		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					

		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	報告書	成果発表	合計	
総合評価割合	50	50	100	
基礎的能力	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	
分野横断的能力	50	50	100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	海外語学研修A 2	
科目基礎情報							
科目番号	104751			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	語学研修科目 (本科)			対象学年	1		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	なし						
担当教員	野田 善弘,平田 隆一郎						
到達目標							
海外協力校等において、現地の人々との交流や生きた語学環境と異文化を体験することで、グローバルな視野の獲得、学生の語学力や国際コミュニケーション力の向上を目的とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	現地の人々と積極的にコミュニケーションを取ることができる。			現地の人々とコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができない。	
評価項目2	国際感覚と異文化共生能力を十分に身に付けている。			国際感覚と異文化共生能力を身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けていない。	
評価項目3	実習の目的や成果を的確に表現できる。			実習の目的や成果を表現できる。		実習の目的や成果を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	海外での語学研修（オンライン研修も含む）での活動、および事前事後学習を行い、コミュニケーション能力と異文化共生能力を向上させる。本校主催の研修以外も対象とし、その期間や内容に応じて、1単位を認める。本科目は、すでに海外語学研修A 1（1単位）を取得した学生を対象とする。						
授業の進め方・方法	事前に研修プログラムを提出する。研修中は、現地での様々な活動に積極的に取り組む。帰国後に修了書等を提出する。事後報告の資料を作成し、提出するとともに必要に応じて報告会でプレゼンテーションを行う。						
注意点	この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	事前指導：研修プログラムの提出		1,2,3		
		2週	事前指導：渡航指導		1,2,3		
		3週	研修先での活動		1,2,3		
		4週	研修先での活動		1,2,3		
		5週	研修先での活動		1,2,3		
		6週	研修先での活動		1,2,3		
		7週	研修先での活動		1,2,3		
		8週	研修先での活動		1,2,3		
	2ndQ	9週	研修先での活動		1,2,3		
		10週	研修先での活動		1,2,3		
		11週	研修先での活動		1,2,3		
		12週	研修先での活動		1,2,3		
		13週	研修先での活動		1,2,3		
		14週	事後学習：報告書の作成		1,2,3		
		15週	事後学習：成果発表		1,2,3		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					

		15週		
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	報告書	成果発表	合計	
総合評価割合	50	50	100	
基礎的能力	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	
分野横断的能力	50	50	100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	海外語学研修B	
科目基礎情報							
科目番号		104752		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		実習		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		語学研修科目（本科）		対象学年		1	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		なし					
担当教員		野田 善弘,平田 隆一郎					
到達目標							
海外協力校等において、現地の人々との交流や生きた語学環境と異文化を体験することで、グローバルな視野の獲得、学生の語学力や国際コミュニケーション力の向上を目的とする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		現地の人々と積極的にコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができない。	
評価項目2		国際感覚と異文化共生能力を十分に身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けていない。	
評価項目3		実習の目的や成果を的確に表現できる。		実習の目的や成果を表現できる。		実習の目的や成果を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		海外での語学研修（オンライン研修も含む）での活動、および事前事後学習を行い、コミュニケーション能力と異文化共生能力を向上させる。本校主催の研修以外も対象とし、その期間や内容に応じて1単位を認める。すでに海外語学研修A1もしくは海外語学研修A2を取得した学生は、本科目を受講できない。					
授業の進め方・方法		事前に研修プログラムを提出する。研修中は、現地での様々な活動に積極的に取り組む。帰国後に修了書等を提出する。事後報告の資料を作成し、提出するとともに必要に応じて報告会でプレゼンテーションを行う。					
注意点		この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	事前指導：研修プログラムの提出		1,2,3		
		2週	事前指導：渡航指導		1,2,3		
		3週	研修先での活動		1,2,3		
		4週	研修先での活動		1,2,3		
		5週	研修先での活動		1,2,3		
		6週	研修先での活動		1,2,3		
		7週	研修先での活動		1,2,3		
		8週	研修先での活動		1,2,3		
	2ndQ	9週	研修先での活動		1,2,3		
		10週	研修先での活動		1,2,3		
		11週	研修先での活動		1,2,3		
		12週	研修先での活動		1,2,3		
		13週	研修先での活動		1,2,3		
		14週	事後学習：報告書の作成		1,2,3		
		15週	事後学習：成果発表		1,2,3		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					

		15週		
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	報告書	成果発表	合計	
総合評価割合	50	50	100	
基礎的能力	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	
分野横断的能力	50	50	100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英会話演習A 1	
科目基礎情報							
科目番号		104740		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		語学研修科目 (本科)		対象学年	2		
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		オンライン教材					
担当教員		福光 優一郎					
到達目標							
オンライン英会話を用いた個別最適化した学習機会の提供を目的とする。 到達目標は学習者自らが定め、オンライン上のレッスン教材を用いて講師とともに学習を進め、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		講師と英語で積極的にコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		授業時間外に学習者がオンラインレッスンを受講し、受講回数が30回を超えた学習者に1単位を認める。レッスンの受講時間以外に、学習内容の予習復習が必要である。					
授業の進め方・方法		オンライン英会話では会話教材はもちろん、発音、文法、TOEIC対策、Daily Newsなど様々な教材が用意されている。学習者の目的に応じて教材を選択し、講師と英語でコミュニケーションを取りながら、学習を進める。					
注意点		この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。また、受講費用については自己負担となる。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		対話		合計	
総合評価割合		100		100	
分野横断的能力		100		100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英会話演習A 2	
科目基礎情報							
科目番号	104741			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	語学研修科目 (本科)			対象学年	2		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	オンライン教材						
担当教員	福光 優一郎						
到達目標							
オンライン英会話を用いた個別最適化した学習機会の提供を目的とする。 到達目標は学習者自らが定め、オンライン上のレッスン教材を用いて講師とともに学習を進め、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		講師と英語で積極的にコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	授業時間外に学習者がオンラインレッスンを受講し、受講回数が3 0 回を超えた学習者に1 単位を認める。レッスンの受講時間以外に、学習内容の予習復習が必要である。本科目は、すでに英会話演習A 1 (1 単位) を取得した学生を対象とする。						
授業の進め方・方法	オンライン英会話では会話教材はもちろん、発音、文法、TOEIC対策、Daily Newsなど様々な教材が用意されている。学習者の目的に応じて教材を選択し、講師と英語でコミュニケーションを取りながら、学習を進める。						
注意点	この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。また、受講費用については自己負担となる。						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		対話		合計	
総合評価割合		100		100	
分野横断的能力		100		100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英会話演習B	
科目基礎情報							
科目番号		104742		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		演習		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		語学研修科目 (本科)		対象学年		2	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		オンライン教材					
担当教員		福光 優一郎					
到達目標							
オンライン英会話を用いた個別最適化した学習機会の提供を目的とする。 到達目標は学習者自らが定め、オンライン上のレッスン教材を用いて講師とともに学習を進め、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		講師と英語で積極的にコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		授業時間外に学習者がオンラインレッスンを受講し、受講回数が60回を超えた学習者に2単位を認める。レッスンの受講時間以外に、学習内容の予習復習が必要である。すでに英会話演習A1もしくは英会話演習A2を取得した学生は、本科目を受講できない。					
授業の進め方・方法		オンライン英会話では会話教材はもちろん、発音、文法、TOEIC対策、Daily Newsなど様々な教材が用意されている。学習者の目的に応じて教材を選択し、講師と英語でコミュニケーションを取りながら、学習を進める。					
注意点		この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。また、受講費用については自己負担となる。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		対話		合計	
総合評価割合		100		100	
分野横断的能力		100		100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度（2024年度）		授業科目	海外語学研修A 1	
科目基礎情報							
科目番号	104750			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	語学研修科目（本科）			対象学年	2		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	なし						
担当教員	野田 善弘,平田 隆一郎						
到達目標							
海外協力校等において、現地の人々との交流や生きた語学環境と異文化を体験することで、グローバルな視野の獲得、学生の語学力や国際コミュニケーション力の向上を目的とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	現地の人々と積極的にコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができない。		
評価項目2	国際感覚と異文化共生能力を十分に身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けていない。		
評価項目3	実習の目的や成果を的確に表現できる。		実習の目的や成果を表現できる。		実習の目的や成果を表現できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	海外での語学研修（オンライン研修も含む）での活動、および事前事後学習を行い、コミュニケーション能力と異文化共生能力を向上させる。本校主催の研修以外も対象とし、その期間や内容に応じて、1単位を認める。						
授業の進め方・方法	事前に研修プログラムを提出する。研修中は、現地での様々な活動に積極的に取り組む。帰国後に修了書を提出する。事後報告の資料を作成し、提出するとともに必要に応じて報告会でプレゼンテーションを行う。						
注意点	この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	事前指導：研修プログラムの提出		1,2,3		
		2週	事前指導：渡航指導		1,2,3		
		3週	研修先での活動		1,2,3		
		4週	研修先での活動		1,2,3		
		5週	研修先での活動		1,2,3		
		6週	研修先での活動		1,2,3		
		7週	研修先での活動		1,2,3		
		8週	研修先での活動		1,2,3		
	2ndQ	9週	研修先での活動		1,2,3		
		10週	研修先での活動		1,2,3		
		11週	研修先での活動		1,2,3		
		12週	研修先での活動		1,2,3		
		13週	研修先での活動		1,2,3		
		14週	事後学習：報告書の作成		1,2,3		
		15週	事後学習：成果発表		1,2,3		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					

		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	報告書	成果発表	合計	
総合評価割合	50	50	100	
基礎的能力	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	
分野横断的能力	50	50	100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	海外語学研修A 2	
科目基礎情報							
科目番号	104751			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	語学研修科目（本科）			対象学年	2		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	なし						
担当教員	野田 善弘,平田 隆一郎						
到達目標							
海外協力校等において、現地の人々との交流や生きた語学環境と異文化を体験することで、グローバルな視野の獲得、学生の語学力や国際コミュニケーション力の向上を目的とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	現地の人々と積極的にコミュニケーションを取ることができる。			現地の人々とコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができない。	
評価項目2	国際感覚と異文化共生能力を十分に身に付けている。			国際感覚と異文化共生能力を身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けていない。	
評価項目3	実習の目的や成果を的確に表現できる。			実習の目的や成果を表現できる。		実習の目的や成果を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	海外での語学研修（オンライン研修も含む）での活動、および事前事後学習を行い、コミュニケーション能力と異文化共生能力を向上させる。本校主催の研修以外も対象とし、その期間や内容に応じて、1単位を認める。本科目は、すでに海外語学研修A 1（1単位）を取得した学生を対象とする。						
授業の進め方・方法	事前に研修プログラムを提出する。研修中は、現地での様々な活動に積極的に取り組む。帰国後に修了書等を提出する。事後報告の資料を作成し、提出するとともに必要に応じて報告会でプレゼンテーションを行う。						
注意点	この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	事前指導：研修プログラムの提出		1,2,3		
		2週	事前指導：渡航指導		1,2,3		
		3週	研修先での活動		1,2,3		
		4週	研修先での活動		1,2,3		
		5週	研修先での活動		1,2,3		
		6週	研修先での活動		1,2,3		
		7週	研修先での活動		1,2,3		
		8週	研修先での活動		1,2,3		
	2ndQ	9週	研修先での活動		1,2,3		
		10週	研修先での活動		1,2,3		
		11週	研修先での活動		1,2,3		
		12週	研修先での活動		1,2,3		
		13週	研修先での活動		1,2,3		
		14週	事後学習：報告書の作成		1,2,3		
		15週	事後学習：成果発表		1,2,3		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					

		15週		
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	報告書	成果発表	合計	
総合評価割合	50	50	100	
基礎的能力	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	
分野横断的能力	50	50	100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	海外語学研修B	
科目基礎情報							
科目番号	104752			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	語学研修科目 (本科)			対象学年	2		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	なし						
担当教員	野田 善弘,平田 隆一郎						
到達目標							
海外協力校等において、現地の人々との交流や生きた語学環境と異文化を体験することで、グローバルな視野の獲得、学生の語学力や国際コミュニケーション力の向上を目的とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	現地の人々と積極的にコミュニケーションを取ることができる。			現地の人々とコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができない。	
評価項目2	国際感覚と異文化共生能力を十分に身に付けている。			国際感覚と異文化共生能力を身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けていない。	
評価項目3	実習の目的や成果を的確に表現できる。			実習の目的や成果を表現できる。		実習の目的や成果を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	海外での語学研修（オンライン研修も含む）での活動、および事前事後学習を行い、コミュニケーション能力と異文化共生能力を向上させる。本校主催の研修以外も対象とし、その期間や内容に応じて1単位を認める。すでに海外語学研修A1もしくは海外語学研修A2を取得した学生は、本科目を受講できない。						
授業の進め方・方法	事前に研修プログラムを提出する。研修中は、現地での様々な活動に積極的に取り組む。帰国後に修了書等を提出する。事後報告の資料を作成し、提出するとともに必要に応じて報告会でプレゼンテーションを行う。						
注意点	この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	事前指導：研修プログラムの提出		1,2,3		
		2週	事前指導：渡航指導		1,2,3		
		3週	研修先での活動		1,2,3		
		4週	研修先での活動		1,2,3		
		5週	研修先での活動		1,2,3		
		6週	研修先での活動		1,2,3		
		7週	研修先での活動		1,2,3		
		8週	研修先での活動		1,2,3		
	2ndQ	9週	研修先での活動		1,2,3		
		10週	研修先での活動		1,2,3		
		11週	研修先での活動		1,2,3		
		12週	研修先での活動		1,2,3		
		13週	研修先での活動		1,2,3		
		14週	事後学習：報告書の作成		1,2,3		
		15週	事後学習：成果発表		1,2,3		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					

		15週		
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	報告書	成果発表	合計	
総合評価割合	50	50	100	
基礎的能力	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	
分野横断的能力	50	50	100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英会話演習A 1	
科目基礎情報							
科目番号		104740		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		演習		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		語学研修科目 (本科)		対象学年		3	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		オンライン教材					
担当教員		福光 優一郎					
到達目標							
オンライン英会話を用いた個別最適化した学習機会の提供を目的とする。 到達目標は学習者自らが定め、オンライン上のレッスン教材を用いて講師とともに学習を進め、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		講師と英語で積極的にコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		授業時間外に学習者がオンラインレッスンを受講し、受講回数が30回を超えた学習者に1単位を認める。レッスンの受講時間以外に、学習内容の予習復習が必要である。					
授業の進め方・方法		オンライン英会話では会話教材はもちろん、発音、文法、TOEIC対策、Daily Newsなど様々な教材が用意されている。学習者の目的に応じて教材を選択し、講師と英語でコミュニケーションを取りながら、学習を進める。					
注意点		この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。また、受講費用については自己負担となる。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		対話		合計	
総合評価割合		100		100	
分野横断的能力		100		100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英会話演習A 2	
科目基礎情報							
科目番号	104741			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	語学研修科目（本科）			対象学年	3		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	オンライン教材						
担当教員	福光 優一郎						
到達目標							
オンライン英会話を用いた個別最適化した学習機会の提供を目的とする。 到達目標は学習者自らが定め、オンライン上のレッスン教材を用いて講師とともに学習を進め、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		講師と英語で積極的にコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	授業時間外に学習者がオンラインレッスンを受講し、受講回数が3 0 回を超えた学習者に1 単位を認める。レッスンの受講時間以外に、学習内容の予習復習が必要である。本科目は、すでに英会話演習A 1（1 単位）を取得した学生を対象とする。						
授業の進め方・方法	オンライン英会話では会話教材はもちろん、発音、文法、TOEIC対策、Daily Newsなど様々な教材が用意されている。学習者の目的に応じて教材を選択し、講師と英語でコミュニケーションを取りながら、学習を進める。						
注意点	この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。また、受講費用については自己負担となる。						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		対話		合計	
総合評価割合		100		100	
分野横断的能力		100		100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英会話演習B	
科目基礎情報							
科目番号		104742		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科		語学研修科目 (本科)		対象学年	3		
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		オンライン教材					
担当教員		福光 優一郎					
到達目標							
オンライン英会話を用いた個別最適化した学習機会の提供を目的とする。 到達目標は学習者自らが定め、オンライン上のレッスン教材を用いて講師とともに学習を進め、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		講師と英語で積極的にコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		授業時間外に学習者がオンラインレッスンを受講し、受講回数が60回を超えた学習者に2単位を認める。レッスンの受講時間以外に、学習内容の予習復習が必要である。すでに英会話演習A1もしくは英会話演習A2を取得した学生は、本科目を受講できない。					
授業の進め方・方法		オンライン英会話では会話教材はもちろん、発音、文法、TOEIC対策、Daily Newsなど様々な教材が用意されている。学習者の目的に応じて教材を選択し、講師と英語でコミュニケーションを取りながら、学習を進める。					
注意点		この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。また、受講費用については自己負担となる。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		対話		合計	
総合評価割合		100		100	
分野横断的能力		100		100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	海外語学研修A 1	
科目基礎情報							
科目番号		104750		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		実習		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		語学研修科目 (本科)		対象学年		3	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		なし					
担当教員		野田 善弘,平田 隆一郎					
到達目標							
海外協力校等において、現地の人々との交流や生きた語学環境と異文化を体験することで、グローバルな視野の獲得、学生の語学力や国際コミュニケーション力の向上を目的とする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		現地の人々と積極的にコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができない。	
評価項目2		国際感覚と異文化共生能力を十分に身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けていない。	
評価項目3		実習の目的や成果を的確に表現できる。		実習の目的や成果を表現できる。		実習の目的や成果を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		海外での語学研修（オンライン研修も含む）での活動、および事前事後学習を行い、コミュニケーション能力と異文化共生能力を向上させる。本校主催の研修以外も対象とし、その期間や内容に応じて、1単位を認める。					
授業の進め方・方法		事前に研修プログラムを提出する。研修中は、現地での様々な活動に積極的に取り組む。帰国後に修了書を提出する。事後報告の資料を作成し、提出するとともに必要に応じて報告会でプレゼンテーションを行う。					
注意点		この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	事前指導：研修プログラムの提出		1,2,3		
		2週	事前指導：渡航指導		1,2,3		
		3週	研修先での活動		1,2,3		
		4週	研修先での活動		1,2,3		
		5週	研修先での活動		1,2,3		
		6週	研修先での活動		1,2,3		
		7週	研修先での活動		1,2,3		
		8週	研修先での活動		1,2,3		
	2ndQ	9週	研修先での活動		1,2,3		
		10週	研修先での活動		1,2,3		
		11週	研修先での活動		1,2,3		
		12週	研修先での活動		1,2,3		
		13週	研修先での活動		1,2,3		
		14週	事後学習：報告書の作成		1,2,3		
		15週	事後学習：成果発表		1,2,3		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					

		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	報告書	成果発表	合計	
総合評価割合	50	50	100	
基礎的能力	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	
分野横断的能力	50	50	100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	海外語学研修A 2	
科目基礎情報							
科目番号	104751			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	語学研修科目（本科）			対象学年	3		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	なし						
担当教員	野田 善弘,平田 隆一郎						
到達目標							
海外協力校等において、現地の人々との交流や生きた語学環境と異文化を体験することで、グローバルな視野の獲得、学生の語学力や国際コミュニケーション力の向上を目的とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	現地の人々と積極的にコミュニケーションを取ることができる。			現地の人々とコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができない。	
評価項目2	国際感覚と異文化共生能力を十分に身に付けている。			国際感覚と異文化共生能力を身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けていない。	
評価項目3	実習の目的や成果を的確に表現できる。			実習の目的や成果を表現できる。		実習の目的や成果を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	海外での語学研修（オンライン研修も含む）での活動、および事前事後学習を行い、コミュニケーション能力と異文化共生能力を向上させる。本校主催の研修以外も対象とし、その期間や内容に応じて、1単位を認める。本科目は、すでに海外語学研修A 1（1単位）を取得した学生を対象とする。						
授業の進め方・方法	事前に研修プログラムを提出する。研修中は、現地での様々な活動に積極的に取り組む。帰国後に修了書等を提出する。事後報告の資料を作成し、提出するとともに必要に応じて報告会でプレゼンテーションを行う。						
注意点	この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	事前指導：研修プログラムの提出		1,2,3		
		2週	事前指導：渡航指導		1,2,3		
		3週	研修先での活動		1,2,3		
		4週	研修先での活動		1,2,3		
		5週	研修先での活動		1,2,3		
		6週	研修先での活動		1,2,3		
		7週	研修先での活動		1,2,3		
		8週	研修先での活動		1,2,3		
	2ndQ	9週	研修先での活動		1,2,3		
		10週	研修先での活動		1,2,3		
		11週	研修先での活動		1,2,3		
		12週	研修先での活動		1,2,3		
		13週	研修先での活動		1,2,3		
		14週	事後学習：報告書の作成		1,2,3		
		15週	事後学習：成果発表		1,2,3		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					

		15週		
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	報告書	成果発表	合計	
総合評価割合	50	50	100	
基礎的能力	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	
分野横断的能力	50	50	100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	海外語学研修B	
科目基礎情報							
科目番号	104752			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	語学研修科目 (本科)			対象学年	3		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	なし						
担当教員	野田 善弘,平田 隆一郎						
到達目標							
海外協力校等において、現地の人々との交流や生きた語学環境と異文化を体験することで、グローバルな視野の獲得、学生の語学力や国際コミュニケーション力の向上を目的とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	現地の人々と積極的にコミュニケーションを取ることができる。			現地の人々とコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができない。	
評価項目2	国際感覚と異文化共生能力を十分に身に付けている。			国際感覚と異文化共生能力を身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けていない。	
評価項目3	実習の目的や成果を的確に表現できる。			実習の目的や成果を表現できる。		実習の目的や成果を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	海外での語学研修（オンライン研修も含む）での活動、および事前事後学習を行い、コミュニケーション能力と異文化共生能力を向上させる。本校主催の研修以外も対象とし、その期間や内容に応じて1単位を認める。すでに海外語学研修A1もしくは海外語学研修A2を取得した学生は、本科目を受講できない。						
授業の進め方・方法	事前に研修プログラムを提出する。研修中は、現地での様々な活動に積極的に取り組む。帰国後に修了書等を提出する。事後報告の資料を作成し、提出するとともに必要に応じて報告会でプレゼンテーションを行う。						
注意点	この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	事前指導：研修プログラムの提出		1,2,3		
		2週	事前指導：渡航指導		1,2,3		
		3週	研修先での活動		1,2,3		
		4週	研修先での活動		1,2,3		
		5週	研修先での活動		1,2,3		
		6週	研修先での活動		1,2,3		
		7週	研修先での活動		1,2,3		
		8週	研修先での活動		1,2,3		
	2ndQ	9週	研修先での活動		1,2,3		
		10週	研修先での活動		1,2,3		
		11週	研修先での活動		1,2,3		
		12週	研修先での活動		1,2,3		
		13週	研修先での活動		1,2,3		
		14週	事後学習：報告書の作成		1,2,3		
		15週	事後学習：成果発表		1,2,3		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					

		15週		
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	報告書	成果発表	合計	
総合評価割合	50	50	100	
基礎的能力	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	
分野横断的能力	50	50	100	

新居浜工業高等専門学校	開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	英会話演習A 1
科目基礎情報				
科目番号	104740	科目区分	一般 / 選択	
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	語学研修科目 (本科)	対象学年	4	
開設期	集中	週時間数		
教科書/教材	オンライン教材			
担当教員	福光 優一郎			
到達目標				
オンライン英会話を用いた個別最適化した学習機会の提供を目的とする。 到達目標は学習者自らが定め、オンライン上のレッスン教材を用いて講師とともに学習を進め、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	講師と英語で積極的にコミュニケーションを取ることができる。	講師と英語でコミュニケーションを取ることができる。	講師と英語でコミュニケーションを取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	授業時間外に学習者がオンラインレッスンを受講し、受講回数が30回を超えた学習者に1単位を認める。レッスンの受講時間以外に、学習内容の予習復習が必要である。			
授業の進め方・方法	オンライン英会話では会話教材はもちろん、発音、文法、TOEIC対策、Daily Newsなど様々な教材が用意されている。学習者の目的に応じて教材を選択し、講師と英語でコミュニケーションを取りながら、学習を進める。			
注意点	この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。また、受講費用については自己負担となる。			
本科目の区分				
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。				
授業の属性・履修上の区分				
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用	☒ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画				
		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		対話		合計	
総合評価割合		100		100	
分野横断的能力		100		100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英会話演習A 2	
科目基礎情報							
科目番号	104741			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	語学研修科目 (本科)			対象学年	4		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	オンライン教材						
担当教員	福光 優一郎						
到達目標							
オンライン英会話を用いた個別最適化した学習機会の提供を目的とする。 到達目標は学習者自らが定め、オンライン上のレッスン教材を用いて講師とともに学習を進め、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		講師と英語で積極的にコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	授業時間外に学習者がオンラインレッスンを受講し、受講回数が3 0 回を超えた学習者に1 単位を認める。レッスンの受講時間以外に、学習内容の予習復習が必要である。本科目は、すでに英会話演習A 1 (1 単位) を取得した学生を対象とする。						
授業の進め方・方法	オンライン英会話では会話教材はもちろん、発音、文法、TOEIC対策、Daily Newsなど様々な教材が用意されている。学習者の目的に応じて教材を選択し、講師と英語でコミュニケーションを取りながら、学習を進める。						
注意点	この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。また、受講費用については自己負担となる。						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		対話		合計	
総合評価割合		100		100	
分野横断的能力		100		100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英会話演習B	
科目基礎情報							
科目番号		104742		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科		語学研修科目 (本科)		対象学年	4		
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		オンライン教材					
担当教員		福光 優一郎					
到達目標							
オンライン英会話を用いた個別最適化した学習機会の提供を目的とする。 到達目標は学習者自らが定め、オンライン上のレッスン教材を用いて講師とともに学習を進め、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		講師と英語で積極的にコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		授業時間外に学習者がオンラインレッスンを受講し、受講回数が30回を超えた学習者に1単位を認める。レッスンの受講時間以外に、学習内容の予習復習が必要である。					
授業の進め方・方法		オンライン英会話では会話教材はもちろん、発音、文法、TOEIC対策、Daily Newsなど様々な教材が用意されている。学習者の目的に応じて教材を選択し、講師と英語でコミュニケーションを取りながら、学習を進める。					
注意点		この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。また、受講費用については自己負担となる。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		対話		合計	
総合評価割合		100		100	
分野横断的能力		100		100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	海外語学研修A 1	
科目基礎情報							
科目番号		104750		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		実習		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		語学研修科目 (本科)		対象学年		4	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		なし					
担当教員		野田 善弘,平田 隆一郎					
到達目標							
海外協力校等において、現地の人々との交流や生きた語学環境と異文化を体験することで、グローバルな視野の獲得、学生の語学力や国際コミュニケーション力の向上を目的とする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		現地の人々と積極的にコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができない。	
評価項目2		国際感覚と異文化共生能力を十分に身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けていない。	
評価項目3		実習の目的や成果を的確に表現できる。		実習の目的や成果を表現できる。		実習の目的や成果を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		海外での語学研修（オンライン研修も含む）での活動、および事前事後学習を行い、コミュニケーション能力と異文化共生能力を向上させる。本校主催の研修以外も対象とし、その期間や内容に応じて、1単位を認める。					
授業の進め方・方法		事前に研修プログラムを提出する。研修中は、現地での様々な活動に積極的に取り組む。帰国後に修了書を提出する。事後報告の資料を作成し、提出するとともに必要に応じて報告会でプレゼンテーションを行う。					
注意点		この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	事前指導：研修プログラムの提出		1,2,3		
		2週	事前指導：渡航指導		1,2,3		
		3週	研修先での活動		1,2,3		
		4週	研修先での活動		1,2,3		
		5週	研修先での活動		1,2,3		
		6週	研修先での活動		1,2,3		
		7週	研修先での活動		1,2,3		
		8週	研修先での活動		1,2,3		
	2ndQ	9週	研修先での活動		1,2,3		
		10週	研修先での活動		1,2,3		
		11週	研修先での活動		1,2,3		
		12週	研修先での活動		1,2,3		
		13週	研修先での活動		1,2,3		
		14週	事後学習：報告書の作成		1,2,3		
		15週	事後学習：成果発表		1,2,3		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					

		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
		報告書	成果発表	合計
総合評価割合		50	50	100
基礎的能力		0	0	0
専門的能力		0	0	0
分野横断的能力		50	50	100

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	海外語学研修A 2	
科目基礎情報							
科目番号	104751			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	語学研修科目（本科）			対象学年	4		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	なし						
担当教員	野田 善弘,平田 隆一郎						
到達目標							
海外協力校等において、現地の人々との交流や生きた語学環境と異文化を体験することで、グローバルな視野の獲得、学生の語学力や国際コミュニケーション力の向上を目的とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	現地の人々と積極的にコミュニケーションを取ることができる。			現地の人々とコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができない。	
評価項目2	国際感覚と異文化共生能力を十分に身に付けている。			国際感覚と異文化共生能力を身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けていない。	
評価項目3	実習の目的や成果を的確に表現できる。			実習の目的や成果を表現できる。		実習の目的や成果を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	海外での語学研修（オンライン研修も含む）での活動、および事前事後学習を行い、コミュニケーション能力と異文化共生能力を向上させる。本校主催の研修以外も対象とし、その期間や内容に応じて、1単位を認める。本科目は、すでに海外語学研修A 1（1単位）を取得した学生を対象とする。						
授業の進め方・方法	事前に研修プログラムを提出する。研修中は、現地での様々な活動に積極的に取り組む。帰国後に修了書等を提出する。事後報告の資料を作成し、提出するとともに必要に応じて報告会でプレゼンテーションを行う。						
注意点	この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	事前指導：研修プログラムの提出		1,2,3		
		2週	事前指導：渡航指導		1,2,3		
		3週	研修先での活動		1,2,3		
		4週	研修先での活動		1,2,3		
		5週	研修先での活動		1,2,3		
		6週	研修先での活動		1,2,3		
		7週	研修先での活動		1,2,3		
		8週	研修先での活動		1,2,3		
	2ndQ	9週	研修先での活動		1,2,3		
		10週	研修先での活動		1,2,3		
		11週	研修先での活動		1,2,3		
		12週	研修先での活動		1,2,3		
		13週	研修先での活動		1,2,3		
		14週	事後学習：報告書の作成		1,2,3		
		15週	事後学習：成果発表		1,2,3		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					

		15週		
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	報告書	成果発表	合計	
総合評価割合	50	50	100	
基礎的能力	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	
分野横断的能力	50	50	100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	海外語学研修B	
科目基礎情報							
科目番号		104752		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		実習		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		語学研修科目 (本科)		対象学年		4	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		なし					
担当教員		野田 善弘,平田 隆一郎					
到達目標							
海外協力校等において、現地の人々との交流や生きた語学環境と異文化を体験することで、グローバルな視野の獲得、学生の語学力や国際コミュニケーション力の向上を目的とする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		現地の人々と積極的にコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができない。	
評価項目2		国際感覚と異文化共生能力を十分に身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けていない。	
評価項目3		実習の目的や成果を的確に表現できる。		実習の目的や成果を表現できる。		実習の目的や成果を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		海外での語学研修（オンライン研修も含む）での活動、および事前事後学習を行い、コミュニケーション能力と異文化共生能力を向上させる。本校主催の研修以外も対象とし、その期間や内容に応じて1単位を認める。すでに海外語学研修A1もしくは海外語学研修A2を取得した学生は、本科目を受講できない。					
授業の進め方・方法		事前に研修プログラムを提出する。研修中は、現地での様々な活動に積極的に取り組む。帰国後に修了書等を提出する。事後報告の資料を作成し、提出するとともに必要に応じて報告会でプレゼンテーションを行う。					
注意点		この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	事前指導：研修プログラムの提出		1,2,3		
		2週	事前指導：渡航指導		1,2,3		
		3週	研修先での活動		1,2,3		
		4週	研修先での活動		1,2,3		
		5週	研修先での活動		1,2,3		
		6週	研修先での活動		1,2,3		
		7週	研修先での活動		1,2,3		
		8週	研修先での活動		1,2,3		
	2ndQ	9週	研修先での活動		1,2,3		
		10週	研修先での活動		1,2,3		
		11週	研修先での活動		1,2,3		
		12週	研修先での活動		1,2,3		
		13週	研修先での活動		1,2,3		
		14週	事後学習：報告書の作成		1,2,3		
		15週	事後学習：成果発表		1,2,3		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					

		15週		
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	報告書	成果発表	合計	
総合評価割合	50	50	100	
基礎的能力	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	
分野横断的能力	50	50	100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英会話演習A 1	
科目基礎情報							
科目番号		104740		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		演習		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		語学研修科目 (本科)		対象学年		5	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		オンライン教材					
担当教員		福光 優一郎					
到達目標							
オンライン英会話を用いた個別最適化した学習機会の提供を目的とする。 到達目標は学習者自らが定め、オンライン上のレッスン教材を用いて講師とともに学習を進め、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		講師と英語で積極的にコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		授業時間外に学習者がオンラインレッスンを受講し、受講回数が30回を超えた学習者に1単位を認める。レッスンの受講時間以外に、学習内容の予習復習が必要である。					
授業の進め方・方法		オンライン英会話では会話教材はもちろん、発音、文法、TOEIC対策、Daily Newsなど様々な教材が用意されている。学習者の目的に応じて教材を選択し、講師と英語でコミュニケーションを取りながら、学習を進める。					
注意点		この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。また、受講費用については自己負担となる。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		対話		合計	
総合評価割合		100		100	
分野横断的能力		100		100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英会話演習A 2	
科目基礎情報							
科目番号	104741			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	語学研修科目（本科）			対象学年	5		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	オンライン教材						
担当教員	福光 優一郎						
到達目標							
オンライン英会話を用いた個別最適化した学習機会の提供を目的とする。 到達目標は学習者自らが定め、オンライン上のレッスン教材を用いて講師とともに学習を進め、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		講師と英語で積極的にコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	授業時間外に学習者がオンラインレッスンを受講し、受講回数が3 0 回を超えた学習者に1単位を認める。レッスンの受講時間以外に、学習内容の予習復習が必要である。本科目は、すでに英会話演習A1（1単位）を取得した学生を対象とする。						
授業の進め方・方法	オンライン英会話では会話教材はもちろん、発音、文法、TOEIC対策、Daily Newsなど様々な教材が用意されている。学習者の目的に応じて教材を選択し、講師と英語でコミュニケーションを取りながら、学習を進める。						
注意点	この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。また、受講費用については自己負担となる。						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		対話		合計	
総合評価割合		100		100	
分野横断的能力		100		100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英会話演習B	
科目基礎情報							
科目番号		104742		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科		語学研修科目 (本科)		対象学年	5		
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		オンライン教材					
担当教員		福光 優一郎					
到達目標							
オンライン英会話を用いた個別最適化した学習機会の提供を目的とする。 到達目標は学習者自らが定め、オンライン上のレッスン教材を用いて講師とともに学習を進め、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		講師と英語で積極的にコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができる。		講師と英語でコミュニケーションを取ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		授業時間外に学習者がオンラインレッスンを受講し、受講回数が60回を超えた学習者に2単位を認める。レッスンの受講時間以外に、学習内容の予習復習が必要である。すでに英会話演習A1もしくは英会話演習A2を取得した学生は、本科目を受講できない。					
授業の進め方・方法		オンライン英会話では会話教材はもちろん、発音、文法、TOEIC対策、Daily Newsなど様々な教材が用意されている。学習者の目的に応じて教材を選択し、講師と英語でコミュニケーションを取りながら、学習を進める。					
注意点		この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。また、受講費用については自己負担となる。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		対話		合計	
総合評価割合		100		100	
分野横断的能力		100		100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	海外語学研修A 1	
科目基礎情報							
科目番号		104750		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		実習		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		語学研修科目 (本科)		対象学年		5	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		なし					
担当教員		野田 善弘,平田 隆一郎					
到達目標							
海外協力校等において、現地の人々との交流や生きた語学環境と異文化を体験することで、グローバルな視野の獲得、学生の語学力や国際コミュニケーション力の向上を目的とする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		現地の人々と積極的にコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができない。	
評価項目2		国際感覚と異文化共生能力を十分に身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けていない。	
評価項目3		実習の目的や成果を的確に表現できる。		実習の目的や成果を表現できる。		実習の目的や成果を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		海外での語学研修（オンライン研修も含む）での活動、および事前事後学習を行い、コミュニケーション能力と異文化共生能力を向上させる。本校主催の研修以外も対象とし、その期間や内容に応じて、1単位を認める。					
授業の進め方・方法		事前に研修プログラムを提出する。研修中は、現地での様々な活動に積極的に取り組む。帰国後に修了書を提出する。事後報告の資料を作成し、提出するとともに必要に応じて報告会でプレゼンテーションを行う。					
注意点		この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	事前指導：研修プログラムの提出		1,2,3		
		2週	事前指導：渡航指導		1,2,3		
		3週	研修先での活動		1,2,3		
		4週	研修先での活動		1,2,3		
		5週	研修先での活動		1,2,3		
		6週	研修先での活動		1,2,3		
		7週	研修先での活動		1,2,3		
		8週	研修先での活動		1,2,3		
	2ndQ	9週	研修先での活動		1,2,3		
		10週	研修先での活動		1,2,3		
		11週	研修先での活動		1,2,3		
		12週	研修先での活動		1,2,3		
		13週	研修先での活動		1,2,3		
		14週	事後学習：報告書の作成		1,2,3		
		15週	事後学習：成果発表		1,2,3		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					

		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	報告書	成果発表	合計	
総合評価割合	50	50	100	
基礎的能力	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	
分野横断的能力	50	50	100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	海外語学研修A 2	
科目基礎情報							
科目番号	104751			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	語学研修科目（本科）			対象学年	5		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	なし						
担当教員	野田 善弘,平田 隆一郎						
到達目標							
海外協力校等において、現地の人々との交流や生きた語学環境と異文化を体験することで、グローバルな視野の獲得、学生の語学力や国際コミュニケーション力の向上を目的とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	現地の人々と積極的にコミュニケーションを取ることができる。			現地の人々とコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができない。	
評価項目2	国際感覚と異文化共生能力を十分に身に付けている。			国際感覚と異文化共生能力を身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けていない。	
評価項目3	実習の目的や成果を的確に表現できる。			実習の目的や成果を表現できる。		実習の目的や成果を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	海外での語学研修（オンライン研修も含む）での活動、および事前事後学習を行い、コミュニケーション能力と異文化共生能力を向上させる。本校主催の研修以外も対象とし、その期間や内容に応じて、1単位を認める。本科目は、すでに海外語学研修A 1（1単位）を取得した学生を対象とする。						
授業の進め方・方法	事前に研修プログラムを提出する。研修中は、現地での様々な活動に積極的に取り組む。帰国後に修了書等を提出する。事後報告の資料を作成し、提出するとともに必要に応じて報告会でプレゼンテーションを行う。						
注意点	この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	事前指導：研修プログラムの提出		1,2,3		
		2週	事前指導：渡航指導		1,2,3		
		3週	研修先での活動		1,2,3		
		4週	研修先での活動		1,2,3		
		5週	研修先での活動		1,2,3		
		6週	研修先での活動		1,2,3		
		7週	研修先での活動		1,2,3		
		8週	研修先での活動		1,2,3		
	2ndQ	9週	研修先での活動		1,2,3		
		10週	研修先での活動		1,2,3		
		11週	研修先での活動		1,2,3		
		12週	研修先での活動		1,2,3		
		13週	研修先での活動		1,2,3		
		14週	事後学習：報告書の作成		1,2,3		
		15週	事後学習：成果発表		1,2,3		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					

		15週		
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	報告書	成果発表	合計	
総合評価割合	50	50	100	
基礎的能力	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	
分野横断的能力	50	50	100	

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	海外語学研修B	
科目基礎情報							
科目番号	104752			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	語学研修科目（本科）			対象学年	5		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	なし						
担当教員	野田 善弘,平田 隆一郎						
到達目標							
海外協力校等において、現地の人々との交流や生きた語学環境と異文化を体験することで、グローバルな視野の獲得、学生の語学力や国際コミュニケーション力の向上を目的とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	現地の人々と積極的にコミュニケーションを取ることができる。			現地の人々とコミュニケーションを取ることができる。		現地の人々とコミュニケーションを取ることができない。	
評価項目2	国際感覚と異文化共生能力を十分に身に付けている。			国際感覚と異文化共生能力を身に付けている。		国際感覚と異文化共生能力を身に付けていない。	
評価項目3	実習の目的や成果を的確に表現できる。			実習の目的や成果を表現できる。		実習の目的や成果を表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	海外での語学研修（オンライン研修も含む）での活動、および事前事後学習を行い、コミュニケーション能力と異文化共生能力を向上させる。本校主催の研修以外も対象とし、その期間や内容に応じて1単位を認める。すでに海外語学研修A1もしくは海外語学研修A2を取得した学生は、本科目を受講できない。						
授業の進め方・方法	事前に研修プログラムを提出する。研修中は、現地での様々な活動に積極的に取り組む。帰国後に修了書等を提出する。事後報告の資料を作成し、提出するとともに必要に応じて報告会でプレゼンテーションを行う。						
注意点	この単位は、進級に必要な単位としては計算されないが、卒業に必要な一般科目の単位として算入される「選択科目」として取り扱う。評価は「優」もしくは「不可」で行う。						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。本科目は履修要覧(p.9)に記載する「自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	事前指導：研修プログラムの提出		1,2,3		
		2週	事前指導：渡航指導		1,2,3		
		3週	研修先での活動		1,2,3		
		4週	研修先での活動		1,2,3		
		5週	研修先での活動		1,2,3		
		6週	研修先での活動		1,2,3		
		7週	研修先での活動		1,2,3		
		8週	研修先での活動		1,2,3		
	2ndQ	9週	研修先での活動		1,2,3		
		10週	研修先での活動		1,2,3		
		11週	研修先での活動		1,2,3		
		12週	研修先での活動		1,2,3		
		13週	研修先での活動		1,2,3		
		14週	事後学習：報告書の作成		1,2,3		
		15週	事後学習：成果発表		1,2,3		
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					

		15週		
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
	報告書	成果発表	合計	
総合評価割合	50	50	100	
基礎的能力	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	
分野横断的能力	50	50	100	